

平成23年度

主な事業

今年度は合併をして8年目を迎えます。これまで、人員削減や公共施設の統廃合、民営化を進め、行財政のスリム化を図ってきました。引き続き、市民の皆さんにご理解いただきながら佐渡市将来ビジョンに沿って、徹底した行財政改革を進め、次世代が安心して住める、魅力あるまちづくりに全力で取り組みます。

また、佐渡には、豊かな自然、薫り高い文化や歴史、芸能などが数多くあります。これらに焦点を当て、保護・活用しながら国内はもとより世界に情報を発信し続けることで佐渡全体のブランド力を高め、農林水産業や観光産業をはじめとするあらゆる産業に経済波及する事業に取り組み、「活気あふれる新しい島づくり」の実現を目指していきます。

次世代が安心して住める
魅力あるまちづくり

1 農林水産業の振興

●新潟大学寄附講座設置寄附金

2800万円

新潟大学に寄附講座を設置し、環境と経済が両立する仕組みを創ります。環境に配慮した農業を科学的に証明し、農林水産物の付加価値を高めるとともに、大学の研究拠点を市内へ設置することを目指します。

(寄附講座とは、大学が市からの寄附金で、市が求める研究を大学にしてもらうもの。)



佐渡市と新潟大学は、平成20年に包括連携協定を締結。握手を交わす新潟大学・下條学長(左)と高野市長。

●環境保全型農業直接支払制度

4400万円

生物多様性農業に取り組む農家に対し、平成23年度から実施される「環境保全型農業直接支援対策」により助成を行います。

(生物多様性とは、多くの生きものが互いに関係を持ちながら生きている状態のこと。)

